



P R E S S R E L E A S E

アラブ首長国連邦で電気小型トラック「eCanter」を初投入

2026年1月21日

- UAEにおける環境に優しい輸送ソリューションへの需要拡大と、持続可能性・クリーンモビリティへの取り組みを支援
- 販売代理店 Al Habtoor Motors と協働し、UAE市場への導入を推進

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン、以下 MFTBC)は、アラブ首長国連邦(UAE)で電気小型トラック「eCanter」の販売を開始しました。UAEでの「eCanter」の投入は初めてとなり、同市場における持続可能な商用モビリティ推進に向けた重要なステップとなります。

同国でのMFTBCの正規販売代理店であるAl Habtoor Motors(本社:アラブ首長国連邦、以下AHM)と協力し、ドバイにて車両発表会が開催されました。発表会にはお客様、パートナー企業、関係者が一堂に会し、都市部やラストマイル輸送におけるゼロエミッションソリューションへの移行を支援するMFTBCの取り組みが強調されました。

「eCanter」は、排出ガスゼロの走行、低騒音、低運用コストを実現し、都市物流、自治体サービス、ラストマイル配送などに最適です。航続距離やシャシ及び架装の豊富なラインアップを備え、お客様の運用ニーズに合わせたカスタマイズが可能です。

「eCanter」は、MFTBCの信頼性ある小型トラックプラットフォームを基盤に、電動ドライブライン技術を融合したスムーズな加速と優れた操作性、そして快適な運転体験を提供します。さらに、先進的な安全・運転支援システムを搭載し、日々の運転における安全性とドライバーの安心感を高めます。

「eCanter」は、すでに世界各国で導入されています。今回のUAE市場への初投入は、環境に配慮した輸送ソリューションへの需要の高まりを反映し、同国の持続可能性およびクリーンモビリティの目標に沿ったものです。MFTBCとAHMは、UAE市場への長期的なコミットメントと、より持続可能で先進的な商用輸送エコシステムの構築を支援する姿勢を改めて示しました。



AI Habtoor Motors とのイベントで披露された eCanter

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社(MFTBC)は、川崎市に本社を置く商用車メーカーです。ダイムラートラック社が89.29%、三菱グループ各社が10.71%の株式を保有しています。90年以上の歴史を持つFUSO ブランドのトラックやバス、産業用エンジンを世界約170の市場向けに開発・製造・販売しています。日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」による電動化や、運転自動化では大型トラック「スーパーグレート」に国内商用車初のSAE レベル2相当の高度運転支援技術を実装するなど、先進技術の開発に積極的に取り組んでいます。

FUSO ブランドについて

「FUSO」はダイムラートラックのブランドの一つです。世界約170の市場において、トラックやバスといった商用車や産業用エンジンを展開しています。90年以上の歴史と日本ならではの品質や熟練技術による効率性や安全性、快適性が特徴です。小型トラック「キャンター」は世界中の様々な市場でトップシェアを獲得しており、日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」をグローバルに展開し、商用車の電動化をリードしています。ブランドスローガン「Future Together」の下、FUSO はお客様とともに安全かつサステナブルな輸送ビジネスを未来へ繋いでいくことを約束します。

電気小型トラック「eCanter」について

「eCanter」は、MFTBC が2017年に発売した日本初の量産型電気小型トラック(バッテリーEV トラック)です。温室効果ガスを排出せず、CO₂削減という社会課題の解決に貢献しつつ、静穏かつ低振動というEV トラックの特性により、都市内輸送・深夜早朝の輸送をより快適・低負荷で行えます。2023年3月にフルモデルチェンジして発売した新型モデルは、シャシラインアップや架装バリエーションの拡大、ニーズに合わせた航続距離の展開によって、さらに多様なニーズへの対応が可能です。日本のほか欧州31市場やオセアニア地域に加え、インドネシアや台湾といったアジア地域および中東・南米など、海外市場への新たな展開も進めています。